



通算第35号
1964~65-2-3
函館北ロータリークラブ

第33回例会

例会場 明治生命館
例会日 毎週水曜日
12.30~13.30

本日のプログラム

映 画

- ◆ 司 会 新 会 長
- ◆ 斉 唱 “君が代” “手に手つないで”
- ◆ ビジター 和賀弘君(森R.C.)
木島茂君他7名(函館R.C.)
桑原正夫君他7名(函館東R.C.)

◆ 会 長 報 告

1. 本日は節分厄払いの日でありますので、皆様の御健康を祈り乾杯します。
2. “ガバナー月信”より特に大事なところをお知らせします。
(1) R. I. 会長ベツテンギル夫妻の歓迎会に出席して
(2) ロータリー創立60周年記念日を迎えるに当つて

明けましてお目出とうございます。

去年は金融引締で重苦しい空気でしたが、新年になり金融緩和で多少前途に明るい感があります。60年前、ポール・ハリスがシカゴでR.C.を創立した時は腐敗と諦観といつた環境の中から生まれ、そえが今日の盛大を齎したことは、その目標である“Service Above Self”, “He Profits Most Who Service Best”, が高く評価され、実践されたことを実証します。戦後、日本のロータリーは急速に発展しました。日本の経済界が沈滞している今日こそ、会員は各自の職業を通じてロータリーの奉仕を実践することによりその事業が繁栄し、よりよき社会をつくるのが大切です。来る2月23日の記念日を迎えるに当り、各クラブではそれぞれ記念すべき行事を計画されて、会員はロータリーの奉仕を身につけ、また会員以外の人達にもそれを充分認識して戴きたいと思ひます。

この件につき去る2月1日五島軒で函館市三R.C.の会長、幹事、プログラム委員長の会合を行いました。その結果、創立記念日には三クラブ合同で例会を行い、当日はR. I.の現況についての映画と、伊部バスト

からとも思ひ。我が北クラブはテレトリーは郡部に近く、フロンティアである。その意味で本日は矢野渡島支庁長さんより郡部に重点をおいたお話をお伺いすることは大いに意義があります。

◆ スピーチ “新年度予算と渡島開発計画について” 渡島支庁長 矢野康氏
先般東クラブでもお話したことがあるので、重複をさけて函館に關係の深いこと及び道南の開発予算について申し上げる。道南の中心は函館であるが、これからの開発は函館だけを考へては駄目で、広く一地域を考へなければならぬ。大いなる函館の發展を望むならば、函館はリーダーとして近隣5ヶ町村をも併せ考へねばいけぬ。40年度の開發予算は昨暮に決定したが、昨年度より伸び率は良かつた。私は道南は斜陽とは考へていない。投資効率が良い地帯だと思ひ。

(1) 先ず特に重要な道路についてお話する。(地図を示しながら)1級国道5号線は、昨年14億5千万円の予算であつたが、40年度は2億円近く増額となり、石倉、落部間を除き殆ど舗装が完成する。松前に行く228号線は、昨年4億5千万円で本年は1億円増となり、海岸線が更に良くなる。大野新道を通り渡島と檜山を結ぶ227号線は、昨年は1億2千万円であり、今年はまだ少し予算がほしいと思つたが、1億5千万円に止まつた。それにしても227号と228号線は一応の整理がつくと思ひ。根法華方面に行く下海岸線は、昨年は1億円で今年3億5千万円となり、問題の銭亀沢、戸井の道路の改良が大分進むであらう。

以上の他に観光面から函館、大沼、恵山を結ぶ連絡道路がほしく、道だけでも一本つくりたい。鉄山から尻岸内にぬける蛾眉野線で、この間5Kmが未完成である。これは観光、開発、産業(海産物運搬)の面で大いに重要である。昨年と今年と2千万円宛予算を貰つたが、現在更に關係方面に要請中で、こゝ3~4年で何とか完成させたい。又川汲線は約1億の予算であるので、本年中に大体目処がつく。尙古部のトンネルが出来たので、来年度あたり周遊線が出来ることと思ひ。

(2) 次に函館市の重点事業として函館空港の問題がある。開港当時は心配されたが、最近の年間利用度は10万人となり(釧路は2万人)、国内航空全日空のハブとなり、今や函館の玄関は港でなく空港となつた観がある。当然拡張、



ガバナーに記念講演をお願いすることになりました。例会事項変更となりますので、理事会（都合により次週に延期）の承認を得ることになります。

◆ 幹事報告

1. 来る2月23日はロータリー創立60周年記念日に当りますので、三クラブ合同例会を行います。従つて2月24日の例会日及例会場を次の様に変更します。

例会日 2月23日(火)
 例会場 五島軒(時間は従来通り)

2. 3月第一例会日(3月3日)は年次総会を行います。議題は次年度理事(3名の新理事のみ)の選任です。当日までに理事候補者の投票をお願いします。

3. 室蘭R.C. 2月11日の例会日は新年会のため2月13日に変更。
 長崎南R.C. 5月29日にチャーター・ナイトを(申込2月20日迄)、
 辰野R.C. 4月28日にチャーク・ナイトを(申込2月15日迄)行います。

◆ スピーチ 『鉄砲のお話』 市川芳夫君

私の専門は歯科医であるが、歯の話は面白味がないと思うので、鉄砲のお話をさせていたゞく。鉄砲が日本に伝来したのは天文12年(1543年)で、ポルトガル人が種が島にもたらし、為に戦国時代の戦術を一変せしめたのは御存知の通りである。その後鎖国時代が続いたため鉄砲の進歩はみられず、火縄銃の時代がつづいたのである。

火器を分類すると砲と銃になる。この分類ははつきりしたものでなく(旧陸軍では11mm口径以上を砲としていた)、一般に手に持つて撃てるものを銃と呼ぶ。銃を二つに分けると、ライフルとショット・ガンになる。他に特殊のものとしてリベット(鎗打銃)もある。

ライフル銃には、単発、連発、自動、全自動の四種があり、更に連発には、ダブル・バレル(二連銃)、ボルト・アクション、スライド・アクション、レバー・アクションの四種がある。このうち二連銃は狩猟に最も安全確実なものであり、自動銃は故障が多い欠点がある。全自動とは機関銃で、民間には持てない。又空気銃にもライフル系に属する。

ライフルには銃身内部に溝があり、まわつてゐる。ジャイロ効果で、頭を一定方向にむけるのである。口径は溝の山と山の距離で、普通よく使う30口径とは、30/100インチで7.62mmである。61mmで一回転する。ライフルのタマは200種以上あり、タマの表示法は色々あつて面白い。

ショット・ガン(散弾銃)は口径が大きい。口径の現わし方は、1ポンドの

鉛を丸くしてそれが通る銃身を1番とし、1\2ポンドの丸い鉛が通るものを2番とする。従つて普通使われる12番とは、1/12ポンドの鉛玉が通る太さである。ショット・ガンの型式として、単発、連発、自動の三種があり、連発には更にダブル・バレル、ボルト・アクション、スライド・アクションの三種がある。ショット(散弾)にはアメリカサイズとイギリスサイズがあるが、日本では主に後者が使われる。

最近の国産銃であるが、ライフルは残念乍らまだ幼稚である。然しショット・ガン特に水平、上下二連は優秀で輸出もされている。将来日本のカメラ、トランジスター・ラジオの様に、大いに外貨獲得をして貰いたいと念じている。

(数多くの珍しい銃や、見事な熊の頭のデモンストレーションまであり、最後に会長さんから市川会員の鉄砲の腕前について賞讃の言葉が付け加えられました。)

◆ 出席報告

会員数29名 当日出席24名
 他ク出席2名 計26名(89.66%)

参考：函館クラブ93.40%
 函館東クラブ95.45%

第350地区出席情况

○ 1964年12月分			
1	名	寄	100.00%
2	釧	路	99.77%
25	函	館	92.81%
29	函	館 東	91.49%
55	函	館 北	80.00%
56	広	尾	80.00%
		平均	91.30%
○ 1964年7月~12月(上半期)分			
1	名	寄	99.71%
2	北	見 東	99.64%
3	釧	路	99.13%
20	函	館	92.22%
34	函	館 東	89.87%
56	函	館 北	78.85%
		平均	90.75%

◆ 次回(2月17日)のプログラム

ゲスト・スピーカーをお願いしております。